

令和 6 年 賀 詞 交 歓 会 開 催

新春恒例の当協会賀詞交歓会が 1 月 12 日（金）12 時 30 分から、冬晴れの中、東京・大手町の KKR ホテル東京 10 階「瑞宝の間」において開催された（写真）。

今年も、多数の会員の皆様に加えて、農林水産省消費・安全局植物防疫課・尾室課長、横浜植物防疫所・森田所長、東京支所・岡田支所長をはじめ植物検疫当局の要職の方々、並びに（一社）全国植物検疫協会、同横浜支部ほか近在地域協会、関係団体の方々にご出席をいただき、盛会であった。

開会にあたり、河野会長から以下の年頭のあいさつがあった。

『皆様、今年もどうぞよろしく願いいたします。

先ずは元日に発生した能登半島地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、

被災した方々に心からお見舞い申し上げます。また一刻も早い復旧・復興を願っております。

さて、本日は、会員の皆様方には新年のお忙しい中、令和 2 年以来の 4 年ぶりの賀詞交歓会に多数のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃から当協会の業務にご理解を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年が皆様にとりまして実り多い、良き一年となりますようお祈り申し上げます。

本日はご来賓として、ご多忙のところ、農林水産省消費・安全局植物防疫課課長尾室義典様、横浜植物防疫所所長森田富幸様、同所東京支所長岡田秀樹様をはじめ、関係当局及び関係団体の方々に多数ご出席頂いております。

のちほど尾室課長様、森田所長様からご挨拶をいただくこととしております。お二方におかれましてはどうぞよろしく願いいたします。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻がいまだに続き、それに伴い欧米とロシアとの対立、また新たにガザ地区における紛争の勃発、米中間の対立など国際情勢は非常に複雑かつ不安定なものとなっています。これらは貿易の観点及び地政学的観点からも我が国に影響を与えるおそれがあるため、今後の動向に注視し

ていく必要があると考えます。

あらためて、平和と平穏を切に望む次第です。

経済面では、ドル高・円安傾向が続いており、ガソリンや食料品等の価格上昇などにより私たちの生活に様々な影響を及ぼしています。

一方で、5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に分類されたこともあって、私たちの行動に制限がなくなり、日常生活がようやくコロナ前

に戻りつつあります。それに伴って外国人旅行者も増えてきて街中も活気を帯びてきました。

この活気が景気の好転につながれば、と考えております。

植物検疫関係では、一昨年 26 年ぶりに大きな改正がなされた「植物防疫法」が 4 月 1 日に施行されました。当協会の業

務に関係の深い輸入分野では病害虫の巣窟である土が付着する恐れがあるとして「中古農業機械」が新たに植物検疫の対象となりました。詳細は割愛いたしますが、その他に輸出検疫や国内防除などの分野で改正法に基づいた新たな施策が講じられている、と承知しております。

また、輸入の際に検査証明書の添付の徹底が求められるなど、昨年は大きな動きがありました。

当協会の業務につきましては、昨年も関係当局のご指導や皆様のご協力の下、ほぼ順調に、円滑に対応できたものと思っております。

今後も輸入検疫の見直しや輸入禁止植物の輸入解禁などが行われる、と思っておりますので、これらの情報を早期に把握し、会員の皆様に情報提供するとともに、具体化した事項につきましては的確、確実に対応いたします。

引き続き関係する皆様のご指導、ご協力の下、植物検疫業務が円滑に進められるよう業務を実施することとしているのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は時間の許す限り新年を寿ぎ、ご歓談いただきま

すようお願い申し上げます。』続いて尾室植物防疫課長及び森田横浜所長のあいさつ（別掲）の後、原副会長の乾杯の発声で開宴となり、和やかな雰囲気の中、会場いっぱいに新春の語らいの輪が広がった。



歓談が尽きない中、参会者各位の益々の繁栄と当協会の発展を祈念して、北條副会長の音頭で全員による一本締めでお開きとなった。(佐藤 勉)

.....

新年を迎えて

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課長 ^{おむろ よしのり} 尾室 義典
令和 6 年を迎え、皆様に新年のお喜びを申し上げます。

この度は、1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被害にあわれました全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。農林水産省としましては、引き続き、人命第一の方針の下、関係省庁や地方自治体と緊密に連携をとって、被災地への食料支援を行うとともに、被害状況の把握、災害応急対策等に全力で取り組んでまいります。

本日は、植物防疫施策における最近の動きと所感を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

はじめに、昨年 4 月に施行された、改正植物防疫法の状況について触れたいと思います。今回の改正は、平成 8 年の改正以来、26 年ぶりの大幅な見直しとなりましたが、関係者の皆様のご理解とご協力もあり、全体としては大きなトラブルなく円滑に制度移行できていると受け止めております。

輸入検査に関しては、植物防疫法の改正により、植物防疫官が行う検査や緊急防除のために講じる措置の対象に農機具等の物品を追加することができるよう措置するとともに、出入国旅客の携帯品に対する検査権限や違反に対する罰則を強化しています。新たに輸入検査等の対象とする物品として、一昨年 9 月 30 日の省令改正により中古農業機械を指定するとともに、携帯品の検査強化や罰則の引き上げについては、空港等での周知を展開することにより、引き続き、適切かつ効率的な水際措置を図っているところです。

これに加え、貨物を対象とした検査証明書の添付の厳格化が、3 年間の猶予期間を経て、昨年 8 月からスタートしました。大きな制度変更となりましたが、現場の皆様のご協力のおかげで、大きな混乱なく円滑に本運用を開始することができました。引き続き、検査の適正化に向けた取組を進めてまいります。

また、検査有害動植物及び輸入検査措置については、国内外における病害虫の発生動向や科学的な知見に関する最新の情報を常に収集し、今後も引き続き必要な見直しを行ってまいります。

輸出検査については、農林水産大臣の登録を受けた者(第三者機関)が植物防疫官に代わり輸出検査の一部を実施することができるよう措置しました。昨年 11 月 28 日現在、10 機関が登録検査機関として登録されており、554 件の検査実績となっています。輸出検査数の増加傾向が続く中で、円滑な検査を実現するため、登録検査機関による

検査の活用を促していきます。

諸外国との植物検疫協議については、国、地域別の輸出拡大戦略に位置づけられた国や品目について、重点的かつ戦略的に進めています。昨年は、メキシコ向け精米の輸出が解禁され、タイ向けかんきつ類の検疫条件が緩和されました。現在は、タイ向けゆず・きんかん、米国向けさくらの切り枝、豪州向けメロン、ペルー向け精米等について、新たな輸出解禁に向けて検疫協議を進めているところです。

以上、植物防疫課の最近の動きを紹介させていただきました。気候変動等により病害虫の発生動向が変化する、インバウンドをはじめとする国際物流が活発化するといったように、植物防疫を巡る状況は常に変化しているところですが、改正法により強化された措置をしっかりと活用しつつ、引き続き適切に植物検疫、病害虫防除を実施し、農業の安定生産・発展に貢献していきたいと考えています。本年も皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

.....

新年のごあいさつ

横浜植物防疫所 所長 ^{もりた とみゆき} 森田 富幸

令和 6 年の新年を迎え、皆様には新春のお慶びを申し上げます。

本日は、東京植物検疫協会賀詞交歓会に参加させていただき、感謝申し上げます。ご出席の皆様には、日頃から植物検疫事業の円滑な推進に多大なるご理解とご協力を賜り、本席をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、このたび能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。横浜植物防疫所管内におきましては、新潟県内で震度 5 強から 6 弱が観測されましたが、幸いにも植物防疫所職員及び施設には被害は生じませんでした。

植物防疫所におきましては、本年も迅速かつ的確な植物検疫業務を行って参る所存ですので、引き続き宜しく願いいたします。

この機会に、植物防疫所の状況をお話しさせていただきます。

【輸出入貨物検査実績(横浜管内)】令和 5 年(2023 年)の横浜管内における数量ベースの輸出入貨物検査実績

(速報値)は、輸入では、前年に比べてまめ類(88%)及び木材(62%)で減少しましたが、それ以外の栽植用植物、栽植用球根、種子、切花、生果実、野菜、こく類、嗜好香辛・葉染料、その他食品、油料・肥飼料・その他雑品等は横ばいか、やや増加となっています。

輸出では、前年に比べて切花(113%)、こく類(109%)、木材(460%)が増加した一方、栽植用球根(58%)、野菜(41%)、まめ類(68%)は減少、それ以外の栽植用植物や生果実等はほぼ横ばいでした。

【輸入検疫】新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが、昨年5月からは5類に移行され、水際措置も見直されて輸入国制限が緩和されたことから、条件付き輸入解禁植物に係る植物防疫官の輸出国への派遣、いわゆる海外検疫も再開され、植物検疫業務に係る制限は、コロナ禍前の状態に戻りました。

また、昨年8月5日から、貨物により輸入される植物への輸出国政府による検査証明書の添付義務が厳格化されました。令和2年8月以降、輸出国において検査証明書を発給する体制を整備するための準備期間（3年間）を設けていましたが、各関係の皆様のご協力のもと、現在までに大きな混乱はなく実施しているところです。引き続き、皆様のご協力をよろしくお祈りいたします。

【輸出検疫】輸出検疫関係では、輸出者からのニーズに迅速に対応するため、国際基準上、病害虫が付着しない程度まで加工されていると判断される小麦粉、赤玉土などの高度加工品は、Web会議システムを利用したリモート検査を実施しています。東京支所管内では現在約7割の輸出申請者にご利用いただいておりますが、今後より多くの方にご利用いただくように努めてまいります。

さらに、輸出検査予約を、24時間365日受け付けられるよう、横浜・川崎地区において、輸出検査予約システムのP-Quickの運用を開始し、4月1日からは東京支所管轄の東京都、埼玉県、茨城県でも開始しました。より多くの利用がなされ、輸出検疫の手続きがさらに円滑に進むことを期待しているところです。

【国内検疫】令和5年度においても、海外からの飛来と推定されるミカンコミバエ種群の誘殺事例が、沖縄県、鹿児島県、長崎県において確認され、また、鹿児島県においてアリモドキゾウムシの誘殺事例があったところです。

いずれも、関係者の協力の下、トラップの増設、防除資材（テックス板）の設置や寄主植物の廃棄等、定着に繋がらないよう初動対策を講じています。

北海道で発生が確認されているジャガイモシロシストセンチュウ、長野県で発生が確認されているテンサイシストセンチュウについては、令和5年度も引き続き緊急防除を実施しています。テンサイシストセンチュウは山梨県でも確認されたことから、発生範囲の特定調査や防除を実施しているところです。令和4年10月に静岡県で発生が確認されたアリモドキゾウムシについては、令和5年3月から緊急防除を開始しています。いずれも関係

者と一丸となって取り組みをしっかりと進めてまいりますと考えています。

以上、簡単に最近の動向を説明いたしました。植物防疫所としては、昨年の改正植物防疫法の施行も踏まえ、引き続き適切に植物検疫を推進していく所存ですので、関係の皆様による植物検疫への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が東京植物検疫協会、並びに会員各社、皆様方にとって良い年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

南アフリカ共和国産ハス種アボカド生果実の

条件付き輸入解禁について

令和5年11月30日付けで南アフリカ共和国産ハス種アボカド生果実が条件付きで輸入解禁された。同国はチチュウカイミバエ及びミカンコミバエ種群発生国のため、寄主植物であるアボカド生果実は、輸入禁止とされていた。○主な輸入条件は、次のとおり

南アフリカから発送され、他の地域を経由しないで輸入されるハス種のアボカド生果実（成熟したものを除く。）であること。南アフリカ共和国植物防疫機関が成熟していないもののみを選果できるものとして指定した施設において選果し、及びこん包すること。船積貨物として輸入され、低温処理船舶又は低温処理コンテナにおいて生果実の中心部が摂氏2.0度となった後、引き続き19日間その温度以下で消毒することとなっている。消毒措置が輸出前に開始され、輸入検査の開始までに終了していることが南アフリカ植物防疫機関により確認されていること。検査が行われた生果実の各こん包又は束ねたこん包には、輸出植物検査が終了している旨及び仕向地が日本である旨の表示がなされていること。

上記措置の結果、検疫有害動植物が付着していないことを認め、又は信ずる旨が記載されている南アフリカ共和国植物防疫機関が発行した植物検疫証明書が添付され、次に掲げる事項が特記されていること。

ア チチュウカイミバエ又はミカンコミバエに侵されていないものであること。

イ 上記消毒措置が行われたものであること。

その他輸入条件詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

----- 会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和5年10月1日～令和5年12月31日) -----

☆入会会員

12月6日 WR International(株) [商社] 〒813-0043 福岡市東区名島3-27-24

☎ 03 (4360) 3894

☆退会会員

10月31日 東 運 ウ ェ ア ハ ウ ス (株)

12月31日 キ ト ク フ ー ズ (株)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 12月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	71	2,592,754	13,092	0	0	2,592,754	13,092
栽植用球根類	個	98	19,979,223	10,525	0	0	19,979,223	10,525
アマリリス	"	9	85,944	0	0	0	85,944	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	85	16,925,900	10,525	0	0	16,925,900	10,525
栽植用種子	kg	338	3,440,759	8,240	0	0	3,440,759	8,240
草花・樹木	"	3	29,800	0	0	0	29,800	0
野菜	"	173	869,573	0	0	0	869,573	0
普通・特用作物	"	56	910,177	0	0	0	910,177	0
牧草・芝草	"	83	1,483,599	8,240	0	0	1,483,599	8,240
切花、切葉、切枝	個	2,603	368,079,528	6,974,548	0	0	368,079,528	6,974,548
アンズリューム	"	0	274,612	0	0	0	274,612	0
オンシジューム	"	170	7,688,544	252,420	0	0	7,688,544	252,420
キク	"	1,442	146,651,105	167,050	0	0	146,651,105	167,050
シダ(レザーフアン)	"	155	22,118,500	507,400	0	0	22,118,500	507,400
果実	kg	6,634	110,130,251	8,347,965	300,916,024	204,121,809	411,046,275	212,469,774
オレンジ	"	732	12,869,717	119,459	0	0	12,869,717	119,459
グレープフルーツ	"	398	7,693,467	160,667	0	0	7,693,467	160,667
タンジェロ(ミネオラ)	"	133	2,950,490	0	0	0	2,950,490	0
レモン	"	433	7,757,108	33,508	0	0	7,757,108	33,508
パイナップル	"	776	12,188,284	4,488,696	26,091,008	22,735,982	38,279,292	27,224,678
バナナ	"	1,321	20,814,663	3,158,880	248,854,351	181,385,827	269,669,014	184,544,707
マンゴウ	"	103	445,252	4,310	0	0	445,252	4,310
キーウイフルーツ	"	588	10,252,591	1,742	25,964,659	0	36,217,250	1,742
ブドウ	"	169	2,476,603	92,805	0	0	2,476,603	92,805
野菜	kg	12,612	250,984,959	647,000	0	0	250,984,959	647,000
カボチャ	"	254	6,094,184	442,025	0	0	6,094,184	442,025
サヤエンドウ(キヌサ)	"	9	128,706	0	0	0	128,706	0
パプリカ	"	42	420,017	5,150	0	0	420,017	5,150
メロン(ハミウリ含む)	"	75	1,307,489	0	0	0	1,307,489	0
キャベツ	"	114	3,482,584	0	0	0	3,482,584	0
セロリ	"	15	214,190	7,548	0	0	214,190	7,548
ナガネギ	"	1,934	28,960,110	18,000	0	0	28,960,110	18,000
ニンニクの芽	"	11	1,262,440	0	0	0	1,262,440	0
ハクサイ	"	0	0	0	0	0	0	0
ブロッコリー	"	138	1,577,854	47,900	0	0	1,577,854	47,900
レタス	"	284	3,308,298	12,000	0	0	3,308,298	12,000
タマネギ	"	4,541	109,264,817	0	0	0	109,264,817	0
ニンニク	"	647	12,096,218	62,500	0	0	12,096,218	62,500
アスパラガス	"	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	"	289	7,787,740	0	0	0	7,787,740	0
サトイモ	"	25	497,300	0	0	0	497,300	0
ショウガ	"	303	6,515,073	0	0	0	6,515,073	0
ニンジン	"	1,351	35,556,690	26,000	0	0	35,556,690	26,000
こく類	kg	6,734	139,238,126	779	125,704,092	0	264,942,218	779
オオムギ	"	3	60,156	0	0	0	60,156	0
エンバク	"	368	8,165,546	0	0	0	8,165,546	0
コムギ	"	279	5,527,927	0	125,704,092	0	131,232,019	0
コメ	"	570	10,663,852	779	0	0	10,663,852	779
ソバ	"	250	4,987,803	0	0	0	4,987,803	0
トウモロコシ	"	316	5,935,447	0	0	0	5,935,447	0
モルト	"	4,842	101,854,867	0	0	0	101,854,867	0
まめ類	kg	9,473	190,087,094	394,229	0	0	190,087,094	394,229
エンドウ	"	65	1,406,817	0	0	0	1,406,817	0
ダイズ	"	8,860	178,142,422	393,229	0	0	178,142,422	393,229
ラッカセイ	"	320	6,456,280	0	0	0	6,456,280	0
嗜好香辛・薬染料、その他食品	kg	4,931	76,286,850	52,600	0	0	76,286,850	52,600
カカオ	"	15	15,883	960	0	0	15,883	960
コーヒー	"	138	1,907,038	510	0	0	1,907,038	510
タバコ	"	818	15,035,670	0	0	0	15,035,670	0
アーモンド	"	1,294	22,787,510	0	0	0	22,787,510	0
クリ	"	19	332,071	0	0	0	332,071	0
クルミ	"	589	10,124,542	0	0	0	10,124,542	0
ポップコーン	"	416	8,484,147	0	0	0	8,484,147	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	24,907	563,568,370	520,694	0	0	563,568,370	520,694
乾燥牧草(ヘイ)	"	18,220	425,990,723	0	0	0	425,990,723	0
アニマルフィード	"	25	192,382	0	0	0	192,382	0
アルファルファ(チップ・ペレット)	"	1,271	31,790,502	0	0	0	31,790,502	0
コーンコブミール	"	60	1,262,490	505,954	0	0	1,262,490	505,954
飼料大豆カス、ペレット	"	385	9,028,283	0	0	0	9,028,283	0
ビートパルプペレット	"	299	7,224,598	0	0	0	7,224,598	0
イネワラ	"	191	2,948,116	24	0	0	2,948,116	24
ココピート	"	596	11,255,044	0	0	0	11,255,044	0
ココヤシ園芸資材	"	187	3,944,032	0	0	0	3,944,032	0
ビートモス	"	1,300	29,085,258	0	0	0	29,085,258	0
ミズゴケ	"	46	134,181	0	0	0	134,181	0
タケ	"	85	1,101,591	14,700	0	0	1,101,591	14,700
木材	m³	9	159	0	0	0	159	0
** 総合計 **	kg	65,629	1,333,736,409	9,971,507	426,620,116	204,121,809	1,760,356,525	214,093,316
	個	2,772	390,651,505	6,998,165	0	0	390,651,505	6,998,165
	m³	9	159	0	0	0	159	0

(注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。